

中学校国語 A (主として「知識」に関する問題)

平成29年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、ことわざ、言葉の意味や使い方、分かりやすい話し方や書き方、文章の読み取り、書写などが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
0.6ポイント上回っています

《平均正答率(%)》

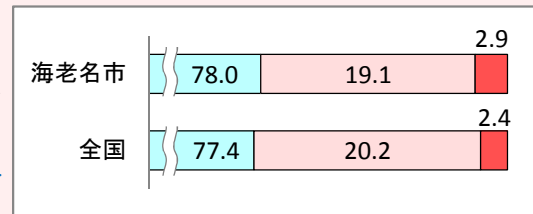
	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	78.0	77.0	77.4	+0.6

誤答の様子は…

分布の様子は…

《誤答の内訳(%)》

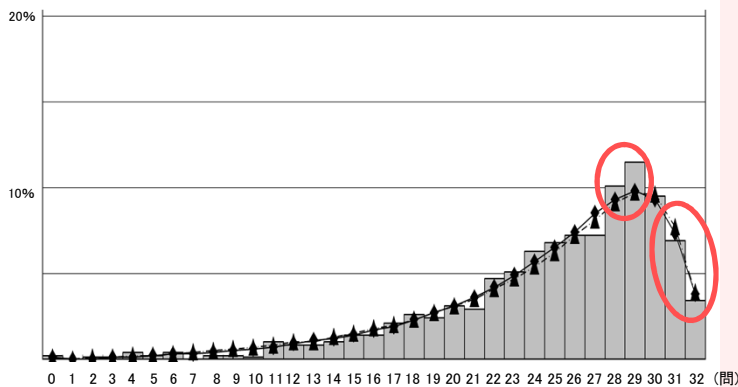
■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は2.9%でした。

《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると
正答数が28、29問の生徒が
特に多く
31問以上の生徒が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~16問)の生徒の割合は
8.2%でした。(全国は9.7%)

* 正答率80%以上(26~32問)の生徒の割合は
55.8%でした。(全国は55.3%)

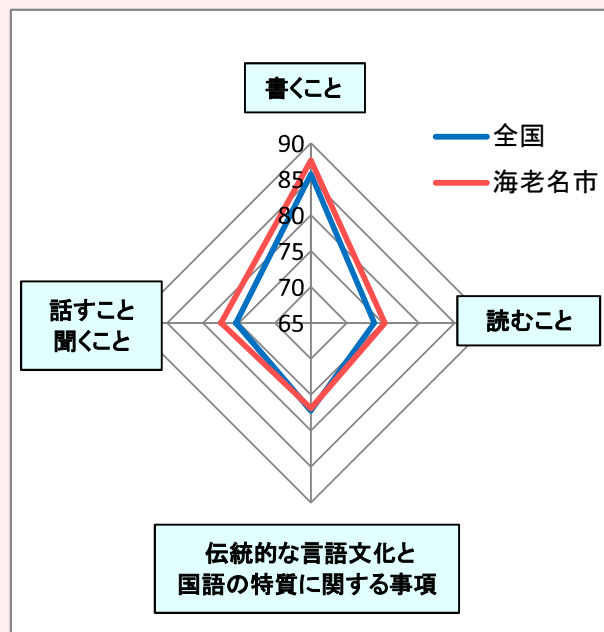
領域別の正答率

3領域において全国と比較して
やや上回っています

《平均正答率(%)》

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	77.5	75.4	+2.1
書くこと	87.6	85.7	+1.9
読むこと	75.3	73.8	+1.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.9	77.2	-0.3

- * 「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、約2.0ポイント上回っていました。
- * 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については下回っていますが、ほとんど差がありませんでした。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手にうまく伝わらなかった発言を修正して書く。(+4.2) ○ 文章の中に入れる適切な語句を選ぶ。(急がば回れ) (+3.4) (えりを正す) (+3.1)
-----------	--

全国を下回った設問	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を書く。 (雨で運動会がエンキになる) (-10.5) (組織のキボを大きくする) (-4.5) (店をトナむ) (-1.5) ○ 「徒然草」の作品の種類を選ぶ。 (随筆) (-6.0)
-----------	--

国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

漢字の読み書きの設問

次の文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

雨で運動会がエンキになる。(全国との比較-10.5)

組織のキボを大きくする。(全国との比較-4.5)

店をトナむ。(全国との比較-1.5)

正答 延期

正答 規模

正答 営(む)

次の文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

水が垂れる。(全国との比較-1.3)

正答 た(れる)

古典の種類を選ぶ設問 (全国との比較-6.0)

※「徒然草」の冒頭の部分と、その現代語訳を読んで

「徒然草」の作品の種類として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 随筆 2 漢文 3 物語 4 和歌

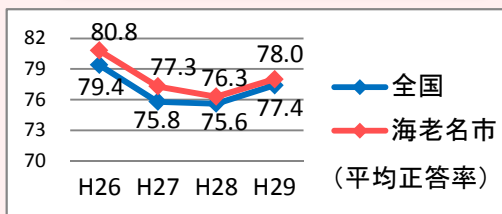
正答 1

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が28～29問の生徒が特に多く、31問以上の生徒が少ないことから、基礎的な力はおおむね身につけているが、さらに確実な定着を図る必要がある。
- ◆ 漢字の習得に大きな課題があり、出題が小学校の配当漢字であることから、くり返し指導するなど指導の工夫が求められる。
- ◆ ほとんどの設問について無解答率が全国と比べて高く、年々その傾向が強くなっていることから、粘り強く問題に取り組む力を身につける必要がある。

これまでとの比較



◆ 4年間とも全国を上回っているが、平成28・29年度はその差が徐々に小さくなっている。

◆ 平成26・27年度は全領域において全国を上回ったが、平成28・29年度は1領域において全国を下回っている。

指導の改善にむけて

- ◆ 「言語事項を確実に習得する」ために
 - 既習の漢字を日常生活や他教科の学習の中で適切に使用するように指導する。
- ◆ 「読む力を高める」ために
 - 文学的な文章を読むときには、文脈に即して語句の意味を的確にとらえながら読むように指導する。